

茨城県立中央病院 医師臨床研修 理念と基本方針

理念

プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけ、医療の社会的役割を理解しながら良質な全人的医療を提供できる医師を養成する。

基本方針

基本的診療能力

急性期疾患を中心として如何なる患者の初期診療にも対応できることを目標とし、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を養成する。

問題解決能力

科学的妥当性に基づき診療上の様々な問題に取り組み、自ら問題対応を行い良質な医療を提供できる能力を養成する。

チーム医療

診療チーム内における自らの役割を理解し、リーダーシップを発揮しながら医療・福祉・保健の幅広いメンバーと協調できることを目標に、コミュニケーション能力を身につける。

医療人としての倫理観、プロフェッショナリズム

患者としての社会的使命を自覚し、患者の人間性や価値観を尊重しつつ適切な医療を提供出来るよう心がけ、さらに常に自らの資質・能力の向上に努める基本的価値観（プロフェッショナリズム）を身に付ける。

地域医療

医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識し、さらに茨城県中北部の医師不足の状況を理解し、地域医療に貢献できる医師を養成する。

2012年4月（2019年7月一部改正）
病院長

研修医が診療を担当させていただくことについて

お願い

当院は、医師法第に基づく臨床研修病院として、研修医の育成に力を注いでいます。

次世代の医師を育てることは、地域の皆さまが、安全・安心な医療を受けることができる環境づくりのひとつであり、当院の使命のひとつと位置付けています。

研修医も診療を担当しますが、国の定めに基づき「臨床研修指導医」のほか、様々な職種の職員が「臨床研修指導者」として研修医の監督や指導に当たっています。

引き続き、研修医の養成にご協力をいただけますよう、お願いいたします。

平成26年3月
病院長

茨城県立中央病院 臨床研修の機能

臨床研修病院の管理者 島居 徹 病院長

基幹型臨床研修病院としての医師育成

当院は、国が指定する次の「協力型臨床研修病院」及び「臨床研修協力施設」と連携して「病院群」全体で自院の研修医を育成しています。

協力型臨床研修病院（14施設）

水戸医療センター
県立こころの医療センター
水戸済生会総合病院
土浦協同病院
筑波大附属病院
筑波学園病院
自治医大附属病院
自治医大附属さいたま医療センター
日立製作所ひたちなか総合病院
県立こども病院
県立医療大学付属病院
茨城県西部メディカルセンター
沖縄県立宮古病院
小山記念病院

臨床研修協力施設（10施設）

石岡第一病院
城里町国保七会診療所
志村大宮病院
石橋内科医院
村立東海病院
常陸大宮市国保美和診療所
北茨城市民病院
常陸大宮済生会病院
あやか内科クリニック
中央保健所

研修実施責任者 鈴木 保之 医療教育局長

協力型臨床研修病院としての医師育成

当院は、国が指定する「協力型臨床研修病院」として、他の臨床研修病院の研修医を受け入れて育成しています。

当院が研修医を受け入れている「基幹型臨床研修病院」

水戸医療センター（水戸市） 土浦協同病院（土浦市）
東京医大茨城医療センター（阿見町） 筑波メディカルセンター（つくば市）
筑波大学附属病院（つくば市） 東大医学部附属病院（文京区）
日立製作所ひたちなか総合病院（ひたちなか市）

臨床研修病院の基本情報

指定区分/基幹型臨床研修病院、協力型臨床研修病院
指定時期/平成15年10月30日
所在地及び二次医療圏/茨城県笠間市豊洲6528、水戸医療圏
開設者の名称及び所在地/茨城県、茨城県水戸市笠原町978-6

茨城県立中央病院 卒後臨床研修プログラムA 指導体制

